

実績確認概要書

平成 25 年 5 月 17 日

審査機関名 シー・アイ・ジャパン株式会社

1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	温泉熱を利用した温熱供給システムと排熱回収ヒートポンプ冷暖房システムによる省エネルギー事業
承認番号	JCDM-PJ0009
排出削減事業者名	株式会社阿寒グランドホテル
排出削減共同実施事業者名	北海道電力株式会社
その他関連事業者名	
事業実施場所	あかん遊久の里 鶴雅 (北海道釧路市阿寒町阿寒湖温泉 4 丁目 6 番 1 0 号) あかん鶴雅別荘 鄙の座 (北海道釧路市阿寒町阿寒湖温泉 2 丁目 8 番 1 号)
事業の概要	本事業は温泉熱の段階的な熱回収およびヒートポンプの総合利用により、重油消費量ゼロ、および温泉使用量を削減するシステムのモデルを目指すものである。 従来は給湯、給気加温、浴槽の循環加温、暖房の熱源をほぼ全て重油で賄い、冷房熱源は冷却塔を利用していた。本技術の導入により、重油消費量を大幅削減し、環境負荷の低減に貢献する。
排出削減量の計画	2009-2012 年度：1,770tCO ₂ /年 (事業実施期間合計 7,080tCO ₂)
国内クレジット 認証期間	事業開始日 2009 年 4 月 1 日 終了予定日 2013 年 3 月 31 日
排出削減方法論	方法論番号 002 ヒートポンプの導入による熱源設備の更新 009 温泉熱及び温泉排熱のエネルギー利用

2. 本実績確認の対象期間

2012年4月1日～2013年3月31日（第4回目実績報告）

3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	925tCO ₂ （2012年4月1日～2013年3月31日）
-------	--

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	審査手続き
排出削減量が承認排出削減事業計画に従って実施した結果生じていること	<p>1) 実績対象期間の確認 第3回目の実績確認期間と重複せず、適切に設定されていることを確認した（2012年4月1日）。 また、排出削減量の算定は、この対象期間を基に適正に計算されている。</p> <p>2) 対象期間中の設備稼働確認 更新後ヒートポンプ、熱交換器は実績確認の期間中継続的に稼働していることを、本実績報告対象期間における電力計の記録、流量計、温度計の測定値等により確認した。</p>
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	<p>排出削減量は、承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていることを確認した。</p> <p>1) モニタリングの方法 承認排出方法論及び承認排出削減事業計画通り、モニタリングが実施されていることを確認している。</p> <p>2) 活動量の正確性 あかん遊久の里 鶴雅において、ヒートポンプの電力使用量は電力計の集計値、温泉使用量は、流量計の測定値及び電力計による温水搬送ポンプ動力の測定値により適切に把握していることを確認した。また、熱交換器の利用温度差についても、適切な位置の温度計で連続計測され、その記録結果については、正しく実績報告書に反映されていることを確認した。 あかん鶴雅別荘 鄙の座においては、計測機器の不具合により、本期間の算定からは除外されていることを確認した。</p> <p>3) 単位発熱量、排出係数等の係数の確認 排出削減量の算定式及び使用されている単位発熱量、排出係数等が、方法論及び承認排出削減計画に従っていることを確認した。</p>

	<p>4) 排出削減量算定及び算定結果の確認</p> <p>事業実施後排出量、ベースライン排出量、排出削減量の算定結果を測定結果と突合、方法論の定めた計算式との照合、計算過程の確認、再計算等を実施した結果、排出削減量の算定結果が正確であることを確認した。</p> <p>また本事業において、リーケージ排出量はポンプの電力使用量があるが、排出削減量の5%未満であることを確認している。</p>
<p>算定期間が2013年3月31日を超えないこと</p>	<p>本実績確認の対象期間は2012年4月1日から2013年3月31日までであり、排出削減量を算定した期間が2013年3月31日を超えていないことを確認している。</p>

5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価

特になし

6. 特記事項

本モニタリング期間における省エネルギー量については原油換算 6.1KL、再生可能エネルギー利用量については原油換算 337.4KLであることを確認した。

以上